

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 7, No. 2

神奈川県立 生命の星・地球博物館

June, 2001



神奈川を代表する植物

サガミジョウロウホトトギス (左)

Tricyrtis ishiiiana

(Kitag. & T.Koyama) Ohwi & Okuyama

サツキ (中)

Rhododendron indicum (L.) Sweet

サンショウバラ (右)

Rosa hirtula (Regel) Nakai

勝山輝男撮影

田中徳久(学芸員)

神奈川県には、3,000種を超える植物が生育しています。その中で、特徴的な分布をする美しい名花を3つ選んでみました。

サガミジョウロウホトトギスは、唯一の神奈川県にのみ分布する植物です。丹沢山地の沢の上流部に生育し、9月上旬に花を咲かせます。高知県のトサジョウロウホトトギスや紀伊半島のキイジョウロウホトトギス、サガミジョウロウホトトギスの変種とされる静岡県のスルガジョウロウホトトギスが、それぞれ

隔離的に分布しています。

サツキは、神奈川県が分布の東限となる植物です。従来は中津溪谷が東限でしたが、その生育地の大部分は宮ヶ瀬湖の湖底に沈みました。現在は道志溪谷が東限となっています。

サンショウバラは、ハコネバラとも呼ばれ、富士・箱根地域に固有の植物です。県内では箱根を中心に分布しますが、丹沢山地でも箱根に近い不老山や三国山には酒匂川の溪谷をまたいで分布しています。